

## マメ科牧草の「アルファルファ」の収穫開始

家畜改良センター岩手牧場では、搾乳牛に給与する良質な粗飼料としてマメ科の牧草「アルファルファ」を大規模栽培しています。今年度は、5月30日よりアルファルファの収穫を開始し、牧草収穫の最盛期が始まりました。

当场では、アルファルファは年間3回収穫を行いますが、1番草は蕾みの付き出した時期（着蕾期）、2番草では花が咲き出した時期（開花期）、3番草は2番草収穫の40日以降（再生期）に収穫を行います。今年度は80ha栽培し、年間約1600tを収穫予定です。

アルファルファの収穫は、モアーコンディショナーで刈取後、ハーベスターで細断したものをダンプトラックで運搬し、チューブバックに詰め込み、一定期間保存してサイレージ（発酵粗飼料）に調製します。そのサイレージを他の飼料と混合しTMR（混合飼料）として、年間を通じて乳牛に給与しています。

\* アルファルファはマメ科の牧草で、タンパク質含量が高く、ミネラルが豊富で、牛の嗜好性も良いので、高泌乳牛の飼料として最適の牧草です。マメ科植物は、空気中の窒素を固定する根粒菌が根に共生し土壌を肥沃にする働きが有り注目されています。



刈取（後ろは岩手山）



アルファルファ



予乾した牧草を細断して運搬



詰込

問い合わせ先 〒020-0123  
岩手県盛岡市下厨川字穴口72-21  
独立行政法人 家畜改良センター岩手牧場  
担当者：戸澤 小倉  
電話：019-641-2130